

十二月

高野長英記念館の風景

感謝

今年 令和6年もあと1か月となりました 高野長英生誕二百二十年を迎え おかげ様で無事に終えようとしています 来館いただきました皆様 当記念館を支えてくださいました多くの方々に心より感謝申し上げます (撮影 11月29日)



ツゲの実



落葉したイチョウの葉



ナデシコ



ビオラ



ハボタン



カンギク

高野長英 えん獄 (1839年・天保10年12月18日)

長英の著書「夢物語」が幕府を批判したとして、同じく尚齒会(知識人の会合)に参加していた渡辺崋山が取り調べを受けます。1839年(天保10年)5月20日に長英は北町奉行所に自首します。そして、同年12月18日に「(前略)夢物語と題號致候書を著述致候段 (中略)既に世間に流布致 人心をも動かし候儀に相成渡邊登呼出しに相成候様承及 (中略)安房守御役所へ自訴致し候得共 不憚公儀致方 右始末不届に付永牢申付之」(高野長運著「高野長英傳」より)と判決が出され、長英は「永牢」(無期禁固刑)の身となります。